



国語・算数・理科の力と学習や生活の様子

～『R4全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語・算数・理科の全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果および分析を受け、白山小学校の子供たちの学習と生活の様子をまとめました。

★国語について★

◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の6つの領域における結果から

◎「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の3つの領域については、県・全国平均より高い正答率でした。文章を書いたり、正しく漢字を使ったりする力が身についています。

②特に正答率が高かった問題

◎書くこと…文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えて書くことができています。また、文章に対する感想や意見を伝え合い、表現の仕方についてよいところを見つける力もついています。

◎言語の特徴や使い方に関する事項…話し言葉と書き言葉との違いを理解することができています。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができています。

◎我が国の言語文化に関する事項…漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができています。

③課題が見られた問題

▲話すこと・聞くこと…必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることに課題が見られました。

→各教科の発表活動において、必要なことは記録したり質問したりしながら、聞く観点を明確にしていくことを意識した活動を行っています。

▲読むこと…登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題が見られました。

→物語の学習において、登場人物に関する特定の叙述に着目するだけでなく、行動や会話、地の文などの複数の叙述を基に人物像を考え、様々な言葉で表現する活動を充実させていきます。

★算数について★

◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の5つの領域における結果から

◎「数と計算」「データの活用」の2つの領域は、県・全国平均より高い正答率でした。

②特に正答率が高かった問題

◎数と計算…示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察し、記述することができています。

◎データの活用…分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え、考察したり読み取ったりすることができています。

③課題が見られた問題

▲図形…図形の意味や性質、構成の仕方についての理解、回転角に着目した図形の構成について考察したり記述したりすることに課題が見られました。

→学習をする際、図形の観察を充分に行い、作図の仕方を多様に考え、筋道を立てて説明したり、作図の手順からできる図形を判断したりする活動を充実させていきます。

▲変化と関係…数量が変わっても割合が変化しないことについての理解、比例関係を基に未知の数量を求めたり記述したりすることに課題が見られました。

→数量関係に着目できる日常的な場면을想定した問題を多く取り入れ、身近な課題として取り組むことができるようにします。

★理科について★◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の4つの領域における結果から

◎「地球」を柱とする領域は、県・全国平均より高い正答率でした。

②特に正答率が高かった問題

◎地球…実験・観察などで得た結果を様々な視点から分析・解釈し、自分の考えをもつことができている。また、予想から結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つこともできている。

③課題が見られた問題

▲エネルギー…光の性質の理解、問題に対するまとめを導きだすための実験の過程や得られた結果の適切な記録などに課題が見られました。

→実験をする際に、課題を的確に把握し、解決していくために必要な記録内容を検討する場面や、適切に記録されているかを確認する場面を設定していきます。

▲粒子…予想と実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことに課題が見られました。

→実験の際には、必ず予想をたて、実験結果をまとめる際には、自他の考えを比較することで自分の考えを見直すなど、多面的に考える活動を充実させていきます。

●学習や生活の様子について● ◇→よい傾向 ◆→心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

◇地域の自然に親しみ、地域の方と交流している児童が多くいます。

◇早寝・早起き・朝ご飯を意識した生活ができています。



◇平日30分以上読書をしたり、1時間以上の家庭学習に取り組んだりしている児童が多くいます。

◆自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→児童自ら家庭での課題への取り組み方を振り返り、時間を有効に使い、計画的に進めることのできる家庭学習を設定できるように見直します。

《学校に関すること》

- ◇学校に行くのが楽しいと思っています。
- ◇自分と異なる意見について考えたり、友達と協力したりするのは楽しいと思っています。
- ◇友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができています。
- ◆国語、算数、理科の授業で学習したことが、将来社会に出たときに役立つと感じている児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。
→学習していることと普段の生活の中の事象との繋がりを意識できる活動をこれまで以上に取り入れていきます。
- ◆学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。
→学習の振り返りを効果的に使用し、児童が自身の学習について省察することができるようにします。



《自分自身に関すること》

- ◇多くの児童が、自分にはよいところがあると思い、将来の夢や目標を持っています。
- ◇自分でやると決めたことは、最後までやり遂げようとしています。
- ◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。
- ◆人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。
→学校行事や学級活動等を活用して、周囲の人の役に立っていることが感じられる活動を多く取り入れます。



【学力面との関係で分析すると】

- 次のように回答した児童ほど正答率が高くなっていることがわかります。
- ◇自分にはよいところがあり、将来の夢や目標を持っている。
- ◇難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ◇人の役に立つ人間になりたいと思っている。



これらの結果から

地域の自然に親しみ、地域の方との交流を大切にしたいと思っている白山っ子です。また、普段の学校生活においても友達との交流を大切に、共に学び合うことを楽しみつつ学んだことへの理解を深めようと様々な教育活動に真面目に取り組むことができています。

今後は、次の3つの活動をより充実させていくことで本校児童のさらなる学力向上に努めてまいります。今後ともご協力よろしくお願い致します。

- 自分のよさに自信を持ち、自己有用感を高めることができる活動
- 子供たちが自ら課題を見出し、自己調整しながらさらに主体的で深い学びに向かうことができる活動
- 学習内容と地域や身近な事象との関連性について気づき、考えることのできる授業の工夫改善